

## 第5回 江東未来会議

(第4分科会：まちづくり・環境分野)

### 次 第

日時:平成19年12月11日(火) 午後7時00分～9時00分

場所:文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ  
テーマ:まちづくり・環境分野の重点テーマにおける  
江東区の将来像について
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 江東未来会議第4分科会 第3回議事概要(確定版)
- 江東未来会議第4分科会第4回グループ討議結果(全体討議を踏まえた加筆修正案)
- これまでの議論内容の整理(まちづくり・環境)
- 江東未来会議提言書の作成に向けた今後の進め方について
- 江東未来会議提言書の構成(案)
- 災害訓練の実施状況および野鳥保護に関する取組状況

# 江東未来会議 第4分科会「まちづくり・環境」分野 第5回 検討の進め方

## 1. 検討内容

### (1) 「重点テーマに関する江東区の将来像」に関する討議

#### ①グループ討議

##### ■討議の内容

- ・グループごとに、「まちづくり・環境分野における望ましい将来像の整理」を行います。具体的には、重点テーマごとに、およそ10年後に江東区がどのような姿になっていることを目指すのか、について整理してください。
- ・前回整理した、「課題」を解決してどのような姿にしたいか、という視点にたって検討してください。

##### ■討議の方法

- ・前回の検討方法と同様に、まず、各自が考える望ましい将来像をポストイットに書き出し、発表し、模造紙に添付していきます。

将来像の書き出し例：「○○の※※なまち」

- ・書き出された将来像を、分野、対象、地域、要因などの観点から類似性、共通性があると思われるものをグルーピング（検討・整理）し、グループごとにテーマ名称を検討、決定してください。

#### ②全体討議

- ・グループごとに重点テーマ別の将来像を発表し、全員で改めて、将来像について意見交換を行います。また、横断的なテーマ「環境」の視点、その他全体に共通する視点等から意見交換を行います。

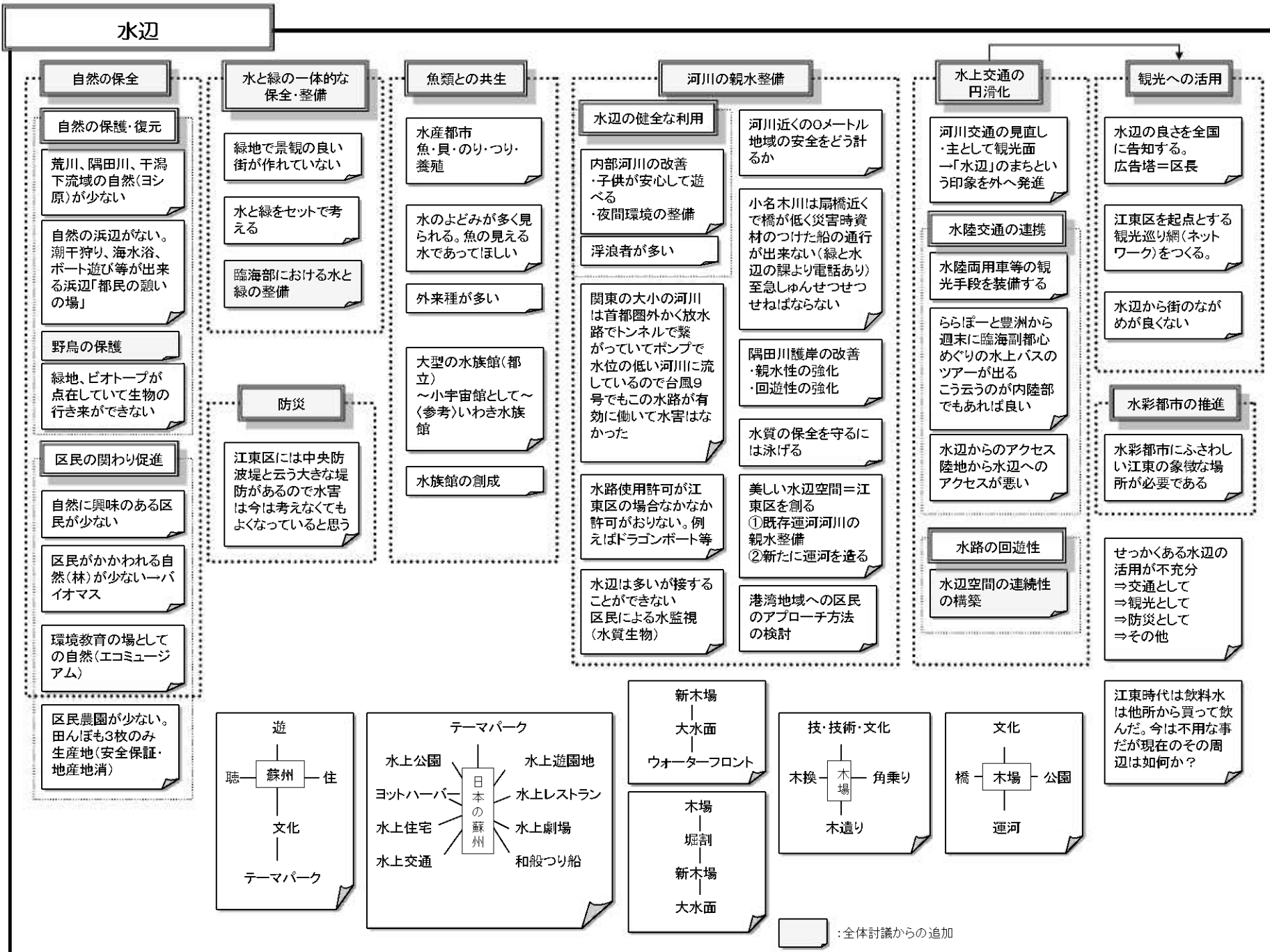
### (2) 「まちづくり・環境分野における論点」に関する討議

- ・提言書の作成に向けて、これまでの検討結果を踏まえて、検討が不足している論点や、再度検討が必要と考えられる論点について、全員で意見交換を行います。

## 2. 進行スケジュール（時間配分の目安）

時間表	検討項目	検討内容
19：00～19：05	開会；議事次第説明	事務局より、議事次第の説明、配布資料を確認します。
19：05～19：10	第4回の進行の確認	事務局より、本日の検討の進め方を説明します。
19：10～19：55	グループ討議（1）①	グループごとに、江東区の10年後の将来像を書き出し、グルーピングを行います。
19：55～20：00	休憩	
20：00～20：30	全体討議（1）②	グループごとの発表と質疑応答を行い、全体で討議を行います。
20：30～20：35	事務局説明	事務局より、今後の進め方、提言書案について説明します。
20：35～20：50	全体討議（2）	全体で、これまでの検討結果を確認し、検討が必要な論点について討議を行います。
20：50～21：00	第7回の日程調整	第7回の日程調整を行います。
21：00	閉会	

以上



# 防災

## 人・行政の意識・対応

### 理念

予想外の災害への対応  
→温暖化、震災

これから来る地球温暖化は文明人は未だ体験したことがない

地球温暖化による海面上昇→水害の意識が少ない

震災、区民の無理解→2次災害→区民への震災教育(生活スタイルに合わせて)

温暖化？予想外

大地震が発生する可能性高まる

防災計画の概要

### 体制

消火態勢(教育訓練)  
民間の消防態勢の強化

住民間のネットワークづくり

町内会とマンション住民との関係

新しい住民、昔からいる人の住民のコミュニケーション

住民間のネットワークづくり

日常の防災対策は？  
(災害情報を伝える住民間のネットワーク)

震災、区民の連携×  
→震災時の協力×  
→緊急時の連絡体制作る

震災情報の周知徹底

災害時の情報の伝達・収集

区からの周知方法の不足(区の対応体制について住民がどの程度理解しているか)

避難訓練

### 避難地域のキャパシティ

#### 人口増への対応

H14年以降、人口増加→現状避難場所のキャパシティ

居住エリアの近くの避難場所を確保→ジャスコの取組み(コンビニ)町会との連携

危険避難地域(44万)

#### 避難場所までの交通網の確保

どうやって避難場所まで行くのか？

地震、交通×→混乱→交通の整理

現状の取組み(NPO)・住民への説明(警察、消防、専門家、区)→参加者少ない

地震対策診断は区が強制出来ないらしい75年前に出来たビルが未だ使用されている

災害時に住民がいる場所について確保されているか

緊急の課題  
大地震が発生した時の避難場所

予想以上の水害が生じた時の対応

## 具体的な対策実行面(人以外)

### 住(場所確保)

消防態勢  
初期消火

災害時の水路の利用

倒壊家屋者の収容要領

### 水害への対策

温暖、ゼロメートル→水没→温暖化対策(環境に優しい開発)

水害対策(防潮堤の見直し、下水道設備)

海面10m以上の避難地域

中期・長期の課題温暖化で海面が上昇した時の居住エリアの在り方

### 二次災害への対応

・災害発生直後の対応  
・二次災害への対応

車の使用規制？(道路)

### 食の確保

非常用糧食

個人携行品

避難場所に備蓄倉庫はあるのか？どうやって作るか？

### 震災訓練実施体制の構築

事業所・事業者への対応・教育訓練が不足

住民の対策(訓練)不足・無関心

会社・工場・病院・学校等の統制 出火源

町内会等の組織に入らない

全体討議からの追加

交通							江東区住民のための交通	
	歩道(歩行)	自転車	自動車	地下鉄	バス	軌道・軌道整備	交通網	
							地区毎の交通網	全体の交通網
現況		自転車の無灯が多い。オートライトの自転車が開発されている。区はオートライトの自転車のみの販売をするようにすべきである。		通勤ラッシュの解消 南砂町駅は人口が増えたのに快速が止まらない 東西線	バス交通の見直しを 現在不便な所も多いと思われる		江東区亀戸始発のバスルートより墨田区錦糸町始発のバスルートの方が多い	江東区は臨海地域はりんかい線、メトロ有楽町線、ゆりかもめ等の交通システムが有るが、東部地域はバスのみしかない
課題	バリアフリー化 高齢者の増加に伴ってもっともってバリアフリーを進めて欲しい	放置自転車をなくす まずは放置自転車の解決方法第一に。それよりほかへ		マンション施設の為バス交通は変わる バスの交通網が1日体制のままである。時代の流れに則さない。because、江東区の人口が増加しているのに	江東区として核になる駅(JR)を作る(亀戸・新木場・越中島・潮見)の中から 核になる駅を中心に南北交通を考える 亀戸通る貨物線の利用		江東区内のどこへでも行ける公共交通網整備 ・区内の一体化・多区(地域) [へ、から]のアクセス 弱者が安心してき便利な交通手段	商店街の活性化 重要施設へ誰でも楽々行ける交通網とする 江東区内のスムーズまで行ける便利な交通網
対策	歩道整備 歩道橋の整理(不用品歩道橋もあり、地震の時に心配な橋もある) エレベーターの整備 老朽歩道橋の撤去	自転車道整備 自転車専用道路(一方通行を含む) 橋の高さを自転車の走りやすい高さ(低く)にする 自転車交通のルール化	公共交通への転換 通過車両の規制	循環コミュニティバス整備(100円) 益々の高齢化進む中で高齢者が安心して1人でも乗れるミニバス運行を望む 区内に4~5ヶ所選び、ハブ・ステーションを望む。必ず必要と思う。	ミニバスの利用を進める バス専用レーン、整備 区内をミニバスですみずみ移動が出来たら... コミュニティバスの運行	LRTの復活 貨物線の利用 新木場~亀戸に関して旧JRの貨物線を活用するか!何らかの交通網を考えて欲しい 路面電車(LRT)の復活	トランジットモールの整備 トランジットモールの整備 公共交通の充実 バス交通網の充実	

■これまでの議論内容の整理（まちづくり・環境）

	水辺グループ	防災グループ	交通グループ
現状および 問題認識	<p><b>－これまでの検討結果</b>                      &lt;自然&gt;                      ＊水辺の自然や環境が良い                      ・野鳥、植物、魚介類の存在→保全へ                      ・区民の環境意識を高めることが必要                      ＊水と緑の一体的な保全が必要</p> <p>&lt;水路・運河・河川&gt;                      ＊水路や運河の魅力                      ・美しい景観を構成→観光への活用                      ・臨海部の観光促進＋内陸部の観光促進へ                      ・水辺からまちを眺める観光の促進</p> <p>＊水彩都市の推進                      ・象徴的な空間の整備が必要</p> <p>＊水上交通の円滑化                      ・水路が連続していない→循環性・回遊性の復元                      ・水路と陸路の連続性が必要</p> <p>＊水辺空間の整備                      ・臨海部の開発を促進                      ・水辺空間の活用：自転車や散歩等を可能に。                      ・親水整備が必要                      ・水辺空間の使い方（青少年、ホームレス等）</p>	<p><b>－これまでの検討結果</b>                      &lt;震災&gt;                      ＊区民の防災意識が低い                      →防災訓練への参加率低下、参加機会少                      →災害時の対応への不安</p> <p>＊震災に関する情報提供                      ・区民は漠然とした不安を抱えている                      ・災害時の情報伝達方法が不明確                      ・行政からの一方的な震災情報の発信（区民理解へ）</p> <p>＊民間消防態勢が不十分（特にマンション？）                      ・町内会の組織率・参加率の低下                      ・住民間のコミュニケーション・ネットワーク不足</p> <p>＊震災訓練・避難訓練の不足                      ・民間事業所、マンションの訓練不足</p> <p>＊避難時の安全性                      ・避難地域のキャパシティ（収容可能人数）の人口増への対応→点検が必要                      ・避難地域への交通網の確保（水路・情報発信・自動車利用規制）</p> <p>&lt;生活安全&gt;                      ＊高層ビル周辺の強風・空間不足                      ＊治安への不安</p> <p>&lt;温暖化・水害&gt;                      ・海面上昇によるゼロメートル地帯水没の不安                      ・海面上昇時の対策（住居エリア、防潮堤、下水道）</p>	<p><b>－これまでの検討結果</b>                      &lt;交通網&gt;                      ＊南北交通網の分断                      ・南北の公共交通が欠如（地下鉄は東西のみ）                      ・東部地域はバスのみ                      →旧市街と新市街の交流の阻害                      →区としての統一性欠如                      →伝統文化と未来都市の融合へ</p> <p>＊水上交通網の整備が必要                      ・水路と陸路の連続性が必要（再掲）</p> <p>&lt;交通&gt;                      ＊歩道の整備強化が必要                      ・歩道橋の不足、老朽化                      ・歩道のバリアフリー化が必要</p> <p>＊自転車の利便性の向上が必要                      ・放置自転車対策が必要                      ・自転車走行にかかるハード・ソフト整備が必要</p> <p>＊江東区は自動車中心のまち                      →公共交通への転換を促進</p> <p>＊地下鉄の通勤ラッシュの解消が必要</p> <p>＊バス路線が硬直的である（昔のまま）                      ・人口増やニーズ変化への対応が必要</p> <p>＊江東区の核となる駅づくりが必要</p>
将来像	<p><b>－本日の検討事項</b>                      例：水上交通の行き交うまち、水路の連なるまち</p>	<p><b>－本日の検討事項</b>                      例：震災に動じない準備のできたまち</p>	<p><b>－本日の検討事項</b>                      例：区民が区内どこへでも行ける公共交通網の整備されたまち</p>
取り組みの方向性／事業のアイデア	<p><b>－できれば本日議論いただきたい事項</b>                      ・水路の復活（公園の掘り起こし）                      ・水族館の創出                      ・環境教育の場（エコミュージアム）づくり</p>	<p><b>－できれば本日議論いただきたい事項</b>                      ・全区震災訓練の実施</p>	<p><b>－できれば本日議論いただきたい事項</b>                      ＊南北交通の創出                      ・貨物線跡地の活用                      ・路面電車（LRT）の整備</p> <p>＊網羅的な交通網の対応                      ・トランジットモールの整備（通過車両の規制）                      ・循環コミュニティバスの導入                      ・歩道橋の整備（老朽歩道橋の撤去）                      ・水路に沿った自転車道の整備</p>

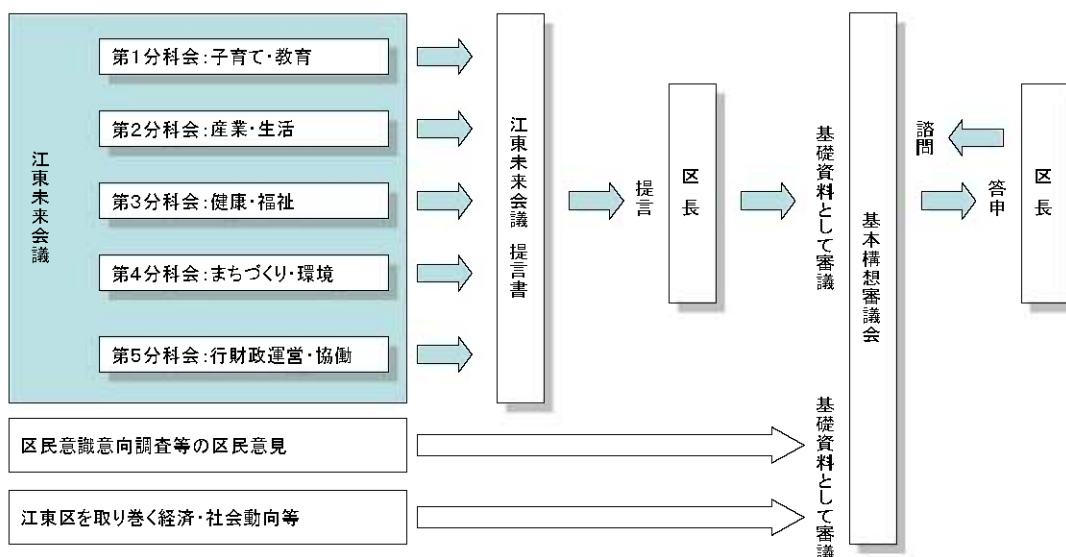
# 江東未来会議提言書の作成に向けた 今後の進め方について

## 1. 江東未来会議提言書について

### (1) 江東未来会議提言書の位置づけ

- 江東未来会議提言書（以下「提言書」）は、江東区基本構想審議会で審議する際の基礎資料の1つとして、江東区の望ましい将来像とその実現のための取り組みについて、全区的な観点から実現可能性や優先性などを意識し、区民の視点から具体性のある提案を行うために作成するものです。

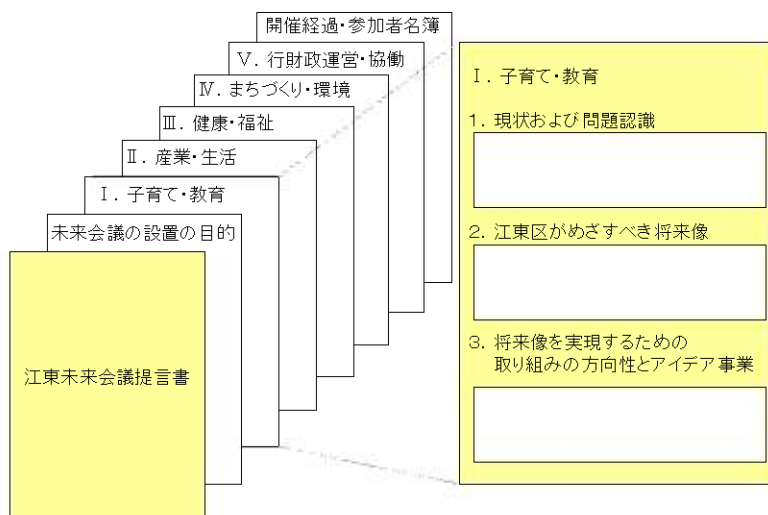
図1 江東未来会議の位置づけ（第1回会議資料再掲）



### (2) 提言書の構成

- 提言書は、各分科会の検討対象分野に沿った5つの分野で構成します。
- 各分野の内容は、「現状および問題認識」「江東区がめざすべき将来像」「将来像を実現するための取り組みの方向性とアイデア事業」の3つの共通項目に沿って、各分科会におけるこれまでの検討結果をもとに整理したものとします。

図2 提言書の構成イメージ（詳細別紙参照）

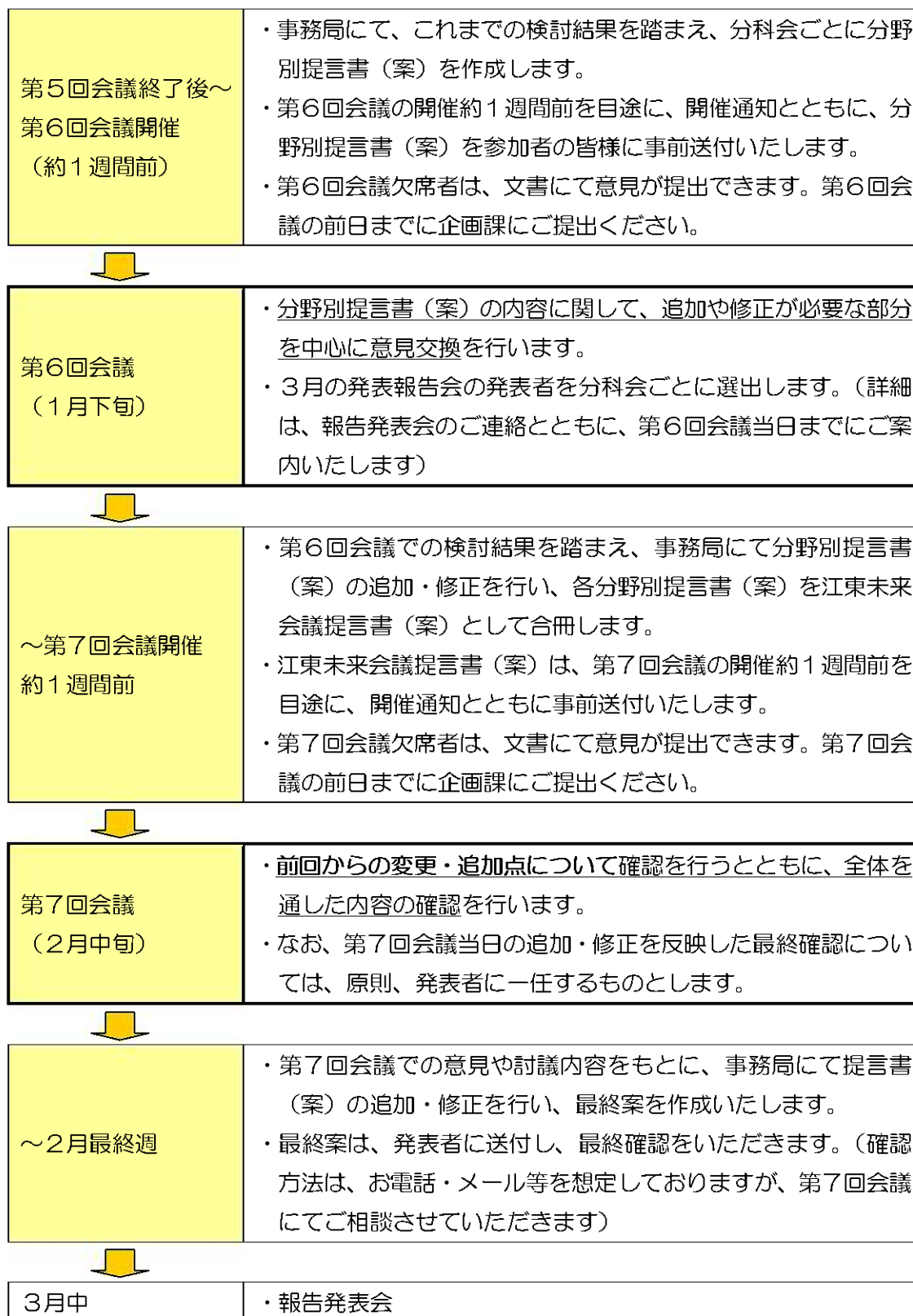




## 2. 提言書の内容確認の流れ

- ・提言書の内容は、以下の流れに沿って、分科会ごとに確認をいただきます。
- ・第7回会議終了後3月中に、提言書を広く区民に発表し周知することを目的として、報告発表会を開催します。（※報告発表会の詳細については、第6回会議までにご案内いたします）

図3 提言書の内容確認の流れ



# 江東未来会議提言書の構成（案）

## <分野別部分>

現状および問題認識に関する論点整理結果（これまでの討議結果資料を想定）を図として適宜掲載

### IV. まちづくり・環境分野

将来像に対応する3つ程度のテーマ毎に作成

#### 1. 現状および問題認識

内容を端的に目出し

##### (1) 水辺

###### ■水辺の自然環境が良い

- ・江東区の水辺には野鳥が多く生息しており、貴重な自然として保護が必要である。

これまでの検討成果のうち、現状認識（よい点／悪い点）、課題等を、箇条書きで表現

###### ■

- ・
- ・

##### (2) 防災

###### ■区民の防災に対する関心が低い

- ・
- ・

##### (3) 交通

###### ■南北の交通網が分断されている

- ・
- ・

## 2. 江東区が目指すべき将来像

「～まち」で表現を統一  
(提言の冒頭に将来像の一覧  
整理を掲載します)

### (1) ～なまち

#### ～なまち

将来像の内容を5～10行  
の文章で説明

### (2) ～できるまち

#### ～できるまち

### (3) ～のまち

#### ～のまち

将来像に関する論点整  
理結果(これまでの討議  
結果資料を想定)を図と  
して適宜掲載

### 3. 将来像の実現に向けた取り組みの方向性とアイデア事業

#### (1) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

<input type="checkbox"/> ~を進めます
<input type="checkbox"/> ~に努めます
<input type="checkbox"/> ~を図ります
<input type="checkbox"/> ~

.....

.....

.....

.....

.....

取り組みの方向性の内容を  
5~10行の文章で説明

##### ②実現に向けたアイデア事業

<〇〇事業>

将来像の実現に向けたアイデア事業の概要（取り組み主体・取り組み内容・ねらい等）を表現します。全くの新規アイデアから既存事業の見直しまで、対象も地域コミュニティレベルから、区外を対象とした大規模なキャンペーンまで、多岐・広範に及ぶことが想定されるため、表現の様式は各部会・各将来像自由とします。ただし、全体のバランスを考慮し、各将来像で最大1頁以内に収めるものとします。

#### (2) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業

#### (3) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業

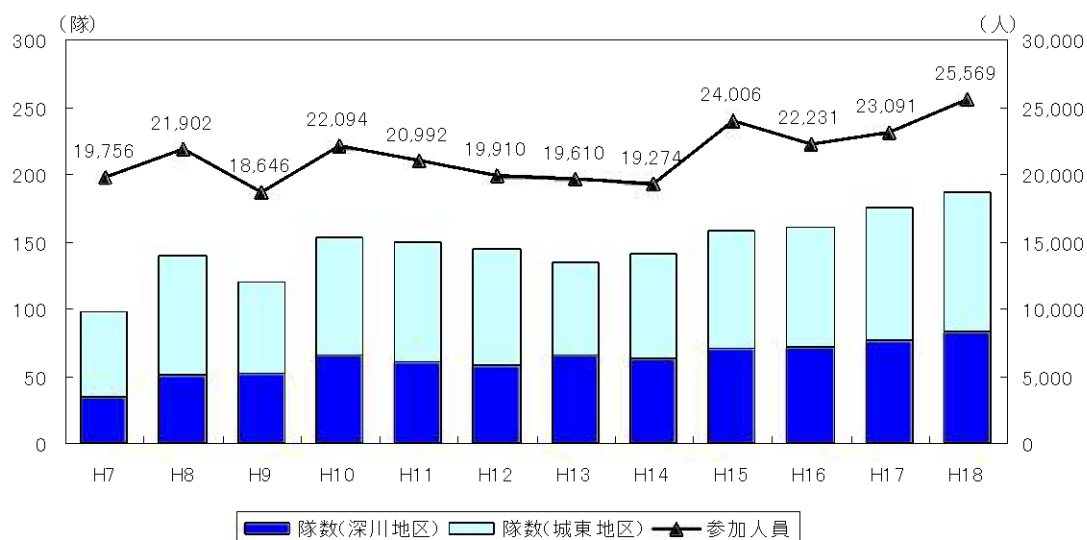
江東未来会議 第4分科会  
 災害訓練の実施状況および野鳥保護に関する取組状況

1. 災害訓練の実施状況

(1) 災害協力隊組織状況（平成19年2月19日現在）

区分	町会・自治会 総数	災害協力隊		
		町会等(有)	町会等(無)	計
深川地区	134	124	6	130
城東地区	134	133	9	142
計	268	257	15	272

(2) 災害協力隊訓練実績（平成19年2月19日現在）



2. 野鳥保護に関する取組状況

- ①「江東区の野鳥」冊子作成：過去に野鳥調査の結果、広報課で作成
- ②野鳥調査（NPOネイチャーリーダー江東が実施）：毎年年末
- ③身近な生き物調査（カモ、ツバメ）：区民の人に連絡もらう。自然に親しむ目的。
- ④ポケットエコスペースでの野鳥調査（年3回）：  
 江東ビオトープネットワーク（任意団体）実施。
- ⑤ポケットエコスペース（約40箇所）、親水公園の整備：野生生物の居場所
- ⑥その他  
 日本野鳥の会が定期的に清澄庭園で野鳥観察を実施。